

ふるさとの道サポーター の皆さんをご紹介します！

集落全体で協力して取り組む



あかみず
赤水自治会（霧島市）

はねだ たけひさ
羽田 武久さん

赤水自治会の世帯数は全体で60戸程です。そのうち高齢世帯を除いた50戸あまりの人たちで、道路・河川の清掃活動や年に2回の花植えをしています。

道路の美化活動の日は朝8時くらいから集まって、男性陣は草払い機

も使いながら道路の清掃を、女性陣は公園で草取りをしています。花植え活動では、集落の入口にある花園に季節の花を植えています。大きな花園ではないので、自分1人でも手入れができないわけではありませんが、みんなで協力しながら集落全体として作業しているという意識が大事だと思えます。現在まで、トラブルや事故はありません。みなさんに作業の集合を呼びかけるときにも事故のないようにと声をかけています。

道路の清掃や花を植えて環境をきれいにすると通る人の意識も変わってくるようで、以前より空き缶・ゴミが少なくなってきたように思いま

す。集落の玄関である花園がきれいになっていけば、「この集落は「道路の美化に力を入れているな」と思っゴミを捨てる人もいなくなるのだと思います。集落全体の活動のほかに、老人部で空き缶を拾ったりカーブミラーを磨いたりもしています。集落全体が元気でまとまりのある環境をずっと維持していくことが目標です。道路の美化や花植え活動などにみんなが参加することが集落全体がまとまるきっかけになっているので、今後もずっと続けていきたいと思っています。



楽しんで活動することが一番



花を咲かせ隊
（阿久根市）

おおた のぶこ
太田 信子さん

「花を咲かせ隊」の活動をするようになったきっかけは、いただいたリビングストーンデイジーの花を植える場所を探したことからです。自分の店の前の植樹帯に空き地が多いことに気づき、そこにきれいな花を咲かせるために、みんなと一緒に活動してみたらいいんじゃないか、と思いついたのがきっかけです。

最初は自ら声をかけて集まった8人で活動していましたが、どんどん輪が広がり、今ではメンバーも増え、国道389号沿いの緑地帯など141の花壇の手入れをしています。多くの人が一緒に活動しているので、連絡係や記録係など担当をきちんと分けて、みんなで役割分担して活動をしています。

今年「花と歴史のウォーキング」というイベントも開催しました。私たちが手入れする緑地帯がある国道389号をずっと歩きながら地元の歴史を勉強するイベントで

す。準備は大変でしたが200人以上の参加者があり大盛況でした。最近若い人やたくさんの方が活動に加わってくれるようになりましたが、一番最初に決めた「道路の清掃や美化活動は楽しく」ということをずっと心に置いて活動しています。楽しいところには人が集まるから、楽しい会にしよう。ボランティアであるということを忘れず、次の世代の人たちにバトンを渡すことが目標になっています。





星原小学校のイメージアップに、「観

星原小学校は西之表市と中種子町の境に近く、西之表市から来ると一番最初にある学校なので、中種子町の顔という意識で取り組んでいます。種子島の観光名所の一つである雄龍・雌龍の岩、休憩できる施設も近くにあり、観光客が立ち寄る機会が多いこの場所だからこそ、いつもきれいにしておかなければと思っています。

今年、「うみなり園」に加えて新しく「しおさい園」を作り、花園が2つになりました。海沿いなので、潮風の影響が非常に強く、花が育ちにくい場所ですが、きれいに花を咲かせて、小学校に来る人や、国道を通る人に気持ちのゆとりを感じてもらえるといいですね。



子どもたちの心の育成を



ほしはら
中種子町立星原小学校
(中種子町)

みやさと ひろみ
宮里 弘見さん

星原小学校の目の前を通る国道58号沿いの「うみなり園」と名付けた花園を手入れしています。土を耕して、花を植えて、雑草を取る作業を、児童11人と職員8人の学校全体で取り組んでいます。

光客の人たちに種子島に来て良かったと思ってもらえるようにという、花園を作った目的などを話してから作業を始めると、意図を理解して花園をきれいにしようと一生懸命作業してくれます。

道路愛護に関する表彰

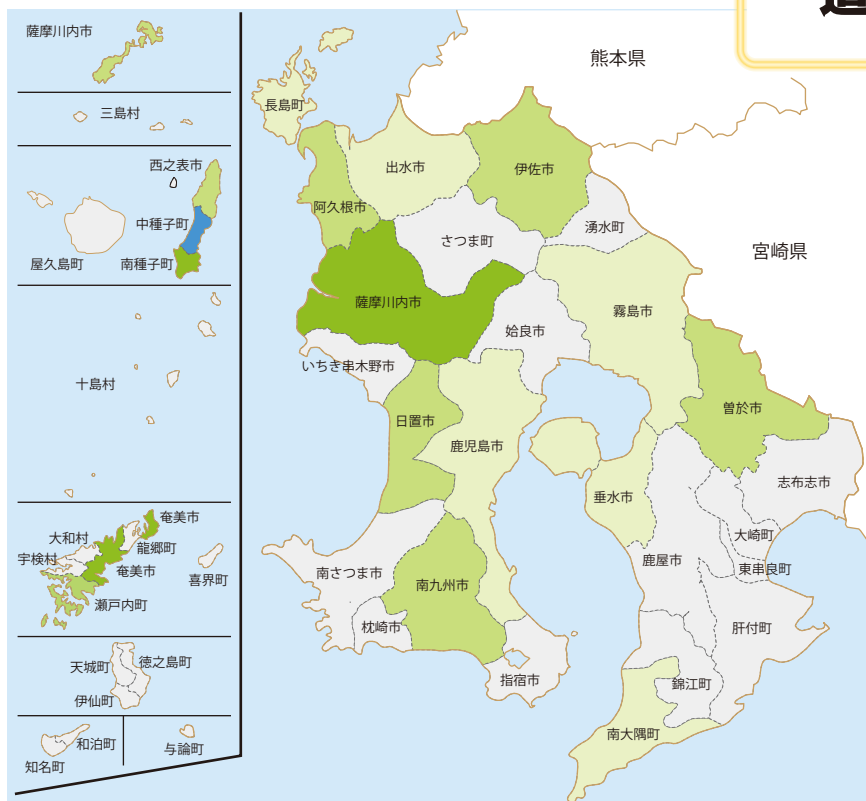
道路愛護に関する表彰とは

長年道路の美化活動に努め、その実績が顕著な民間の団体または個人の方を、道路ふれあい月間の期間中に表彰するものです。表彰には国土交通大臣賞や鹿児島県知事賞などがあり、ふるさとの道サポーターの方々も多く受賞されています。

これまでに入受賞者は大臣表彰9団体、知事表彰30団体、道路功労者表彰3団体、みどりの愛護表彰1団体となっています。

市町村別受賞回数

- 5回以上の受賞
- 4回の受賞
- 3回の受賞
- 2回の受賞
- 1回の受賞
- 受賞なし



より快適な道路環境を 目指して

安心して休憩できる施設 「道の駅」

長距離ドライブの機会が増え、女性・高齢者のドライバーも増加するなか、交通事故の防止や円滑な交通の確保のため、誰もが安心して利用できる休憩施設の整備が求められています。また、これらの休憩施設で地域の文化や名所・特産品などを紹介し、さまざまなサービスを提供することで、地域の拠点が形成され、さらには道を介して町と町とが連携し活力ある地域づくりを行う地域連携などの効果も期待されています。

こうした「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設「道の駅」が各地に誕生しています。



年間約 80 万人が訪れる「道の駅たるみず」

鹿児島県では、「道の駅喜入」が平成6年に県内第一号として誕生し、昨年「道の駅山川港活海道」が新たにオープンしました。現在では、県内各地に19カ所の道の駅があり、地元の商品や特産品、お土産物の販売、観光案内を行うなど、それぞれの施設が地域において大きな役割を果たしています。

人・環境にやさしい 道路空間の形成

歩道のバリアフリー化や地中への電線の埋め込み、視覚障害者誘導用のブロックの整備などにより高齢者の方や身体障害者の方をはじめ、誰にとっても安全かつ安心して歩きやすくなる歩行空間を整える取り組みが進んでいます。また、渋滞緩和や沿道緑化など、沿道環境の改善も各地で行われています。

- ・ 歩道の段差の解消、勾配の緩和
- ・ 安全・快適に通行できる歩道の設置
- ・ 交差点の改良 など



薩摩川内市平佐 段差解消などの歩道整備



国分中央 電線地中化



国分中央 電線地中化

災害に強い 道路ネットワークの形成

台風や集中豪雨などによる自然災害が多い鹿児島県では、災害に強い安全で信頼性の高い道路の整備を進めています。

斜面の土砂崩落や落石など道路に危険を及ぼす可能性のある災害を未然に防ぎ、道路通行の安全を確保するために道路の防災総点検やパトロールを行っています。

- ・ 災害によるのり面崩壊などが起こりにくい道路の整備
- ・ 土砂崩落危険箇所の防災対策
- ・ 迂回路を考慮した緊急輸送道路ネットワークの形成
- ・ 情報提供による安全な道路利用 など

【南大隅町佐多浮津の事例】



被災直後



復旧後（ロックキーパー）

8月は道路ふれあい月間です

道路ふれあい月間とは?

昭和33年に制定された「道路を守る月間」を前身として平成13年に制定された「道路ふれあい月間」は、道路を利用している人々にあらためて、道路とのふれあい、道路の役割や重要性の再認識、道路をいっくしむ、という道路愛護活動の推進や道路の正しい利用の啓発を図ることを目的としています。また、道路を常に美しく、安全に利用する気運を高めることもこの月間の目的の一つです。



ふるさとの道サポーター
北薩・みち愛し隊 (薩摩川内市)
川内駅前清掃

「道の日」

道路ふれあい月間中の8月10日は「道の日」で、昭和61年に道路の意義・重要性に対する人々の関心を高めることを目的として制定されました。

8月10日とされたのは、大正9年に日本で最初の道路整備についての長期計画である第1次道路改良計画が策定されたことと、道路ふれあい月間が実施されている期間であることが理由です。



道の日 清掃活動 (鹿児島市)

道路ふれあい月間や道の日に何をしているの?

国土交通省や地方公共団体、各種団体、住民が協力して道路の美化活動や植樹帯の整備、放置自転車や立て看板などの不法占用物件の撤去等を行っています。

また期間中には、道路交通の安全と道路の正しい利用の促進、路面横断歩道の清掃、花壇の整備など、多年にわたって功績のあった民間の団体や個人の方に対して感謝状を贈って表彰しています。

鹿児島県内でも、道路の美化活動や清掃活動などが行われる予定です。



鹿児島県知事表彰
大宇都自治公民館 (南種子町)



道の日 清掃活動 (鹿児島市)



ふるさとの道サポーター
岸良地域づくり協議会 (肝付町)
植栽活動



ふるさとの道サポーター
大島南老人クラブ (伊佐市)
植栽活動